



～夢・未来へ～  
町民と議会をつなぐ

第78号  
平成30年7月18日

# 河津町議会だより

## 平成30年 第2回定例会

定例会(要旨) .....	2
行政報告 .....	3
一般質問 .....	4～10
情報公開どうなる 他 .....	11
私も一言(稲葉正義さん) .....	12



国道414号から見た1号橋 完成予想図 小鍋地区



## 第2回定例会議案(要旨)

6月5日から6日に第2回定例会が開かれた。議案は全13件。審議の末、全会一致で可決した。

### ●報告第1号

平成29年度河津町一般会計繰越明許費繰越計算書について

内容は、道路橋梁費及び農林水産施設災害復旧費の繰越額が確定したもの。国支出金・地方債・一般財源合わせて1億229万円。

### ●同意第2号

固定資産評価委員の選任

飯田吉光  
(町民生活課長)

### ●承認第1号

専決処分承認を求めることについて(河津町税条例の一部を改正する条例)

税法改正に伴い関連の規定及び条項のずれ等を整備するもの。内容は、個人住民税の見直し・固定資産税(土地、家屋、償却資産)・たばこ税見直しなど。

### ●承認第2号

専決処分の承認を求めること(平成29年度河津町一般会計補正予算(第10号))

一般会計の補正予算、ふるさと納税寄付金確定による財源更生。ふるさと納税は6847万円。

### ●承認第3号

専決処分の承認を求めること(平成29年度河津町介護保険特別会計補正予算(第4号))

29年度介護保険特別会計の補正予算。

### ●議案第25号

河津町国民健康保険条例の一部を改正する条例軽減措置の判定所得基準の算定方法が変更され、5割軽減は27万円から27万5千円に、2割軽減は49万円から50万円とする。

### ●議案第26号

静岡県市町総合事務組合規約の変更  
規約議案は構成団体である他地区の組合解散に伴い市町総合事務組合規約の当該地区名を削除するもの。

### ●議案第27号

平成30年度河津町一般会計補正予算(第1号)  
補正予算は30年度会計の補正。一般会計は3846万円を追加。歳入歳出それぞれは37億7946万円とする。

### ●議案第28号

平成30年度河津町介護保険特別会計補正予算(第1号)

### 1号)

歳入歳出から1118万円を減額し、歳入歳出総額それぞれ10億2848万円とする

### ●議案第29号

平成30年度河津町水道事業会計補正予算(第1号)  
収益的収入に700万円と補正・収益的支出に727万円と補正。

### ●議案第30号

平成30年度河津町温泉事業会計補正予算(第1号)  
収益的収入・支出に111万円を補正。

### ●議案第31号

平成30年度消防ポンプ自動車(第3分団)購入契約  
消防ポンプ自動車の購入(第3分団)契約2289万円。

### ●議案第32号

平成30年度河津町立東小学校・西小学校教育用パソコン購入契約  
30年度の東小、西小のパ

ソコン購入31台、1582万円。

## 表紙の説明 「河津トンネル」

### トンネル全長

1、884m  
今回の工事は1、397mまでを掘削。工事完了予定は33年3月30日。逆川から掘り始め、24時間作業で1日に5〜6mのペースで掘り進める。小鍋方面からは、現在行っている橋等の工事が進むとトンネルの工事が始まる。

今後、町民向け見学会も検討している。

### 写真上

小鍋地区完成イメージ写真右下

### 写真左下

トンネル掘削用重機「ジャンボ」  
逆川地区トンネル工事現場

## 町長の行政方針(抜粋)



町長 岸 宏 重 吉

### ●職員の人事異動

4月1日付けで9部局を10部局に、22係を23係に再編する機構改革を実施し、57名の人事異動を行った。

平成29年度末の退職者は3名。補充や第4次総合計画の着実な推進を図るため、一般事務職5名、保健師1名、幼稚園教諭2名を新規採用した。職員派遣は「後期高齢者医療広域連合」へ1名、「伊豆ジオパーク推進協議会」へ1名、「東河環境センター」の大規模改修に伴い、県から技術職員1名を派遣していただいている。

また、4月26日に人事

異動後における初動体制の確認のため、突発地震を想定した全職員参集訓練を、県と合同で早朝勤務時間外に実施した。今後も防災体制の充実強化に努めていく。

### ●町政施行60周年記念事業

町が誕生し今年で60年となる。これを記念して10月28日に「町政施行60周年記念式典」を河津バゲル公園で開催を予定している。式典に合わせて「河津ふれあいまつり」も同時開催し、町民の皆様をはじめ多くの方に祝って頂きたい。

また、11月11日開催予定の第3回河津フラワートライアスロン大会を町政施行記念大会として実施するので皆様のご理解とご協力をお願いしたい。

### ●町税の収納状況

平成29年現年度分収入額9億7740万1千円、滞納繰越分収入額2082万8千円、全体で9億9822万9千円の収入。徴収率93.16%前年比1.17%増。

国民健康保険税については、現年度分収入額2億3660万9千円、滞納繰越分収入額2351万1千円、全体で2億6012万円の収入。徴収率85.69%前年度比2.99%増。

賀茂地区全体で取り組む「賀茂地方税債権整理回収協議会」の共同徴収により滞納額縮減を進めている。困難な事案については、静岡地方税滞納整理機構に移管し成果を上げている。今年度から実施しているコンビニ納付は固定資産税第1期納付期限3、690件に対し、885件、23.98%の実績。

### ●静岡デザインেশョ

ンキャンペーン(DC) 4月1日に下田駅でオープニングイベントが行われ、プレDCが始まった。旅行者を招致し行われた体験型見学会では、県内9コースの中で伊豆東海岸が一番人気との声もあり本番に向け期待している。

### ●かわづ花の会

第53回さくら祭り中央大会において「かわづ花の会」が、公益社団法人日本さくらの会から平成30年度「さくら功労者」として表彰された。長年にわたって桜の植栽や保護育成への取り組みが評価された。

### ●漁港施設災害復旧事業

昨年の台風21号により被災した下河津漁港施設(菖蒲沢)の工事入札が行われ東海建設㈱が落札した。浜物揚場、浜第2防波堤工事を3099万

### ●学校教育事業

平成30年度第1回河津町学校教育環境整備委員会を開催した。文科省から出ている「公立小・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」等を参考に年6回開催予定で、幼稚園・小学校の保護者等からの要望についての分析を行う。今後、わかば保育園保護者対象に説明会を開催する予定。

### ●社会教育事業

昨年度に引き続き、平成30年度河津町B&G海洋センター体育館改修工事設計業務委託は、㈱ユ一設計集団いなば建築設計室と264万6千円で随意契約した。

# 町政を問う

# 一般質問



小林 和子 議員



図書館 男女共同参画特設コーナー

質問：伊豆半島各地でメガソーラー開発が活発だ。環境破壊・災害等を心配する。伊東で運動が起こり、条例ができ、伊豆市・下田市でも動きがある、当町はどうか。

町長：エネルギー対策としての自然エネルギー事業は大事。だが規模の大きさ、景観、災害危険が

想定されるような計画はふさわしくないと考える。土地利用指導要綱や林地開発許可の規制でも許認可を受けたものを止めることは難しい。県が市町へのメガソーラーアンケイトをした。その中でガイドライン、環境条例、環境アセスメントなどを望んでいる。

建設課長：町は土地利用指導要綱の基準で審査しているが、法的拘束力はない。承認にあたっては法令遵守・損害・紛争解決・道路破損の原形復旧等指し示している。今後は土地利用指導要綱に太陽光発電を明記、個別規準を定めるなど進めていきたい。

## 答え 今後、条例制定に向け取り組んでいく

### 質問 大規模開発の太陽光発電は条例で規制しては

質問：伊豆半島各地でメガソーラー開発が活発だ。環境破壊・災害等を心配する。伊東で運動が起こり、条例ができ、伊豆市・下田市でも動きがある、当町はどうか。

町長：エネルギー対策としての自然エネルギー事業は大事。だが規模の大きさ、景観、災害危険が

想定されるような計画はふさわしくないと考える。土地利用指導要綱や林地開発許可の規制でも許認可を受けたものを止めることは難しい。県が市町へのメガソーラーアンケイトをした。その中でガイドライン、環境条例、環境アセスメントなどを望んでいる。

建設課長：町は土地利用指導要綱の基準で審査しているが、法的拘束力はない。承認にあたっては法令遵守・損害・紛争解決・道路破損の原形復旧等指し示している。今後は土地利用指導要綱に太陽光発電を明記、個別規準を定めるなど進めていきたい。

### 質問 男女共同参画計画への考え方・取り組みは

## 答え 男女共に社会参加の機会を確保し、責任を担う

質問：女性の政治参加は大切であると考えているが町村においてはまだ参加の度合いが低い。会議は男女同数で進めるのが理想と考える。男女共同参画計画についての認識、現状の把握はどうか。

町長：男女共同参画計画は大事な施策であると思う。個人も組織も、男女

の別なく意識の持ち方が大事である。例として健康福祉課にいま「パパ、ママ学級」という両親参加の講習がある。

質問：意識の持ち方は子どもたちへの人権教育が大事と考える。町の30年度の取り組みは。

企画調整課長：ほかに、啓発事業としてポスター

の掲示。ホームページで広報。23日からの男女共同参画週間には、図書館に関連書籍コーナーを設ける予定。

質問：女性の管理職登用は。

町長：男女を意識することではなく、能力があれば登用を考えたい。

# 町政を問う

# 一般質問



渡邊 弘 議員



コミセン3階掲示

### 質問 子育て施設への町民意見をどう聞くのか

## 答え プロセスを大切にホームページで公開とパブリックコメントの募集

質問：子育て会議に建設候補地を夏ごろまでにと諮問された。なぜ土地の購入を急ぐのか。

町長：用地は急いでいない。早期に建設していくべきと、お願いをした。

質問：施設の中でどのような事業をするかで、面積、場所が決まると考える。逆ではないか。

町長：事業の内容は前回の会議で答申がされた。今回、再度見直しをお願いした。

質問：事業のうち、放課後児童クラブは利用者の利便性も十分考慮し学校の近くが常識と思うが。

町長：利用者の利便性についても検討していただけると思っている。

質問：この施設建設に町民の意見を聞くのか。方法はどのようにするか。

町長：委員会のプロセスを大切に。農協テレビ・ホームページでの公開。また意見を募集する。

質問：どんな事業に、賛成反対の意見を聞くのか。

町長：将来にかかわる大きな事業。

### 質問 コミュニティセンター運用・バガテル公園の再生は

## 答え 耐震予備調査をし検討する 土地問題も含め検討

質問：コミセンの建物は倒壊する危険性があると診断されている。利用状況は、最終責任者は町長だが管理はどうなっているか。

対策をするか、新設は考えているか。

町長：商工会の2階・ふれあいホールなど対応できる施設でのことも考えている。

に置いているか。

町長：2段階で考えている。シヨップの貸し出し、新しいイノベーションに取り組み。再生計画は外部委託し全体を見直す。

企画調整課長：27年度は年間269日、5851人が利用。無料で団体のみの貸出し。

質問：今後はどのような

質問：バガテルの再生事業は予算で5314万円の赤字である。長年多額の税金が投入されてきた。再生の方向、目標はどこ

質問：風土の森も含め再開発と土地購入の考えは。

町長：土地も含め検討する。

# 町政を問う

# 一般質問



うえむら かずまさ  
上村和正 議員



町のホームページや図書館で閲覧できる

# 町政を問う

# 一般質問



鉢の山町有地



やま だ いさむ  
山田勇 議員

質問：生産労働人口が減っている中で以前から人口、雇用、税収を増やす施策として、企業誘致がある。町としての条件、条例を先に整備する必要があると考える。企業誘致先進地の条例は。企画調整課長：用地取得、新規雇用や設備投資に対する補助制度、固定資産税等の税額相当分を交付する推奨金等の制度がある。

質問：企業誘致については今ある状態を維持していくのか。  
町長：今後、渋谷区とか行政区、市町、町民の人脈などを生かしてさらに誘致を図っていきたい。  
質問：地区要望をかなえるため税収を増やすには。  
町長：単純には、町民の所得を上げるなどが考えられる。

これからは、道路や橋といったインフラ施設、公共建築物などの維持に、今後の推計をすると、年1億円ぐらいが不足してくると思われる。要望についても出来る限り対応したいと思うが、地区にとっても必要なものを選択して協議しながら要望をかなえていく事が大事。

## 答え 特段考えていない、ただ軽減措置を含めて変える事も可能

## 質問 企業誘致のため時代に合った条例を作る考えは

質問：総合戦略ですが、平成28年に4千万円かけ対象期間は平成31年までで、可能な限り具体的な取組が示された。成果重視の数値目標の進捗状況は。  
企画調整課長：人口減少と地域経済縮小の克服などを目指して取り組みを展開している。40評価項目のうち

13項目が達成されている。31年度までには多くの項目で達成できるよう推進会議の意見を踏まえながら進めている。数値目標の他に、主要な事業が94事業あり、新たに伊豆縦貫自動車道のインターチェンジ周辺地区の地域づくり計画の策定を盛り込んだ。

質問：クリエイティブ拠点の誘致に取り組むとあるが、現況は。  
町長：現在、先進事例など調査し、IT企業のサテライトオフィスなど空き家を活用する方法を考えている。

## 答え 28年度末の設定数値目標 達成率32%

## 質問 まち・ひと・しごと創生総合戦略の達成状況は

質問：観光交流館の1階物販コーナーがいかにも狭い。観光協会の事務所を2階にして物販コーナーのスペースを広げたらどうか。  
町長：確かに地場産品の直売スペースが狭いと言う話を聞く。河津桜祭りの時など私も感じている。観光協会と協議しながら

前向きに取り組んでいく。  
質問：食堂部門が5月いっぱい閉鎖した。これは一時的な休業なのか、それとも食堂部門からの撤退なのか。町に話があったのはいつか。  
町長：4月19日に話を聞いた。町としては新体制の下で食堂の再開をお願いした。

質問：町と観光協会との協定書に委託の禁止条項(12条13条)があるが抵触しないか。  
産業振興課長：指定管理業務を受けているのは観光協会。そこが委託をする場合、基本的には禁止だが、町長の承認を受ければ委託は出きる。13条はあくまで譲渡禁止の条項。

## 答え 観光協議会と協議して、前向きに対応

## 質問 観光交流館の物販コーナーが狭すぎる

質問：12〜3年前に、県の補助事業で河津桜の苗2400本を植えたが、シカに食べられて100本くらいしか残っていない。補植をして、1本1本をワイヤメッシュで囲めば立派に育つと思う。本数は百本か二百本で十分だと思いませんか。  
町長：補植をしても管理

が難しいので、現状のままと考えていたが、百本か二百本で十分と言う事なら参考にさせてもらいたい。  
質問：町有地の平坦部分については、一部分に水が溜まっている所もあるので、縦貫道のトンネル工事の残土を利用して高上げし、総合グラウンド

としての利用を考えてはどうか。  
町長：縦貫道の残土の埋め立てについては、鉢ノ山地区も受け入れ場所として検討しているが、川側に擁壁が必要であり、国がどこまで見てくれるか分からないが、条件付き候補地として考えている。

## 答え 一本一本防護し管理してたもてるのなら

## 質問 鉢の山町有地に河津桜植栽を

# 町政を問う

# 一般質問



えん どう よし のり 議員  
遠藤嘉規

	校舎	体育館	プール/武道場
さくら幼稚園	昭和61年2月／平成18年3月(増築部分)		
東小学校	昭和54年10月	平成元年2月	平成3年8月
西小学校	昭和58年3月	昭和58年3月	昭和49年9月
南小学校	昭和57年2月	昭和62年2月	昭和40年8月
中学校	昭和55年11月	昭和56年3月	平成元年12月

学校施設の耐用年数

質問：学校施設は児童・生徒の利用と、地域の避難所機能を担っている。町内の学校施設は昭和50年代に集中して建設されている。施設の経年劣化によって強度の低下や安全性の問題が出てくるのではないかと。町長：町では施設に不具合があればその都度対応して修繕等が行われている。耐

用年数の問題もあり、今後、施設の老朽化によって修繕等の問題が大きくなる。特にプール等は耐用年数を過ぎていくものもある。今後は延命化対策を計画的にやっていく必要がある。教育委員会事務局長：今後の施設整備の目標として平成32年度までに施設長寿命化の計画を策定し、

老朽化対策を進めていく。今年度は河津中学校において施設の長寿命化計画を予定している。また、幼稚園や小学校は、現在行われている学校教育環境整備委員会の動向を見ながら長寿命化計画を進めたい。

## 質問

### 学校施設の老朽化対策は

## 答え

### 施設の延命化対策を検討したい

町長：現状では議会は災害対策基本法上も地域防災計画上も位置づけがなされていない。災害時に迅速な意思決定と多様な町民意志を反映させる機能発揮するために、議会の役割、組織体制や議員の行動基準などを検討する必要があると思われる。その上で議

会の役割が決まってくる。質問：行政から議会に議会から行政に流れる情報の一元化を考え、災害対策本部と議会の連携、調整の関係を一つづくっていく必要がある。災害対策本部に議長が入る必要性があると思うが。総務課長：議会事務局長が災害対策本部員として

議会との連絡調整役となり情報共有を図り、それぞれ独立した立場での連携による危機管理体制の構築を考えている。今後の地域防災計画及び業務継続計画の改定時には、議会との連携について検討課題としていきたい。

## 質問

### 災害時における行政と議会の関係は

## 答え

### 町と情報を共有し、後方支援を

質問：町有地は限りある町の資源でもあり、これを有効利用することにより町の発展、活性化につながるものが重要。町有地の有効活用をどのように考えているか。町長：活用可能な町有地はできるだけ活用すべき。

特に笹原区画整理地内と下佐ケ野の町有地は今後宅地として売却したい。質問：旧南中跡地の有効活用はどのように考えているか。町長：一年中使えるように町独自で有効に活用す

べき土地と考える。今後意見を聞きながら活用を考えるわけだが、特に若い人たちの声を入れたい。町の活性化の拠点となる場所でもあるので今の状況なるべく早く解決できるような検討を進めたい。

# 町政を問う

# 一般質問



浜・峰線・役場付近



なか さと し 議員  
中里司

## 質問

### 都市計画道路、浜・峰線の全線開通は

## 答え

### 早期全線開通の要望もあるが、まずは説明会を開きたい

質問：浜・峰線は峰から役場までは供用開始から久しいが、役場から観光交流館までの間がここ数年全く進展が見られない。観光シーズンの渋滞緩和や河津川沿いの桜並木に代わる河津桜の回遊ルートづくりにも影響がある。全線開通についてどのように考えているか。町長：この道路はこの6

年近く着工にむけての進展が見られない状況であるが、河津（仮称）インターチェンジから国道135号線に続く重要な路線と考えている。また、地区懇談会でも早期全線開通の要望がある。質問：全線開通への問題点とスケジュールは。町長：町としてもなるべく早い時期に地区、関係

者の皆さんに再度説明する機会を作り、まずは関係者の承諾の上、計画地の周辺測量を行う必要がある。しかし道路建設に理解をしていただけない人もあり今後も、地区、地権者の皆さんにご理解を得るべく交渉を重ねて進展できるように努力していきたい。

## 質問

### 町有地および旧南中跡地の有効活用について

## 答え

### 旧南中跡地の有効利用は、若い人たちの意見を尊重したい

質問：町有地は限りある町の資源でもあり、これを有効利用することにより町の発展、活性化につながるものが重要。町有地の有効活用をどのように考えているか。町長：活用可能な町有地はできるだけ活用すべき。

特に笹原区画整理地内と下佐ケ野の町有地は今後宅地として売却したい。質問：旧南中跡地の有効活用はどのように考えているか。町長：一年中使えるように町独自で有効に活用す

べき土地と考える。今後意見を聞きながら活用を考えるわけだが、特に若い人たちの声を入れたい。町の活性化の拠点となる場所でもあるので今の状況なるべく早く解決できるような検討を進めたい。

### 一般質問



塩田正治 議員

### 町政を問う



さみしい河津駅北口

質問 中学校跡地にユニクロ、GUを誘致しては

答え 現状では難しい、今後の課題

質問：河津町の中心部であり、玄関口である駅周辺のにぎわいを作り出すために、中学校跡地へ、日本一のアパレルブランドであるユニクロやGUを起爆剤として、トップセールズで誘致してはどうか。

町長：駅周辺のにぎわいの創出は大事であると認識している。

また、トップセールズだけでは大企業の誘致は難しい。定住人口が少ない地域でも大企業が商売を成立できると判断してくれるのか危惧する。河津駅北口の開発は、天城方面に向けて、景観も含めて活性化の拠点として、すばらしい河津の駅前にはふさわしい通りとして成立させたい。その中で、町として必要があるのなら緑化的なものも含め、大事であると考えている。

特に企業の誘致については今後の課題としたい。

質問 「小さい町だけ」・「コンパクトシティ化」の

答え 都市づくりの観点ではなく、町民の気持ちや魅力

質問：町長の政治ビジョンであります。「小さい町だけ」美しく、子供からお年寄りまで生き生きと暮らし、納得できる利便性がある」というと国が示しているコンパクトシティ化構想が頭に浮かぶが、違いは何か。

町長：私の言うコンパクトシティは、都市づくりの観点ではなく、町民の気持ち、持ち方、小さいからこそ団結して魅力ある町づくりが出来る。そんな取り組みが子供からお年寄りまで生き生きと暮らすことが出来る。そんな思いでコンパクトと

表現をしている。特に財源、人口が少ない町です。町民参加していただくことにより、小さいながらもまとまることで魅力ある町づくりが出来ると考えている。

### 議員月例会 4、5月期

河津町情報提供の推進に関する要綱(案)について

この要綱は、情報提供の総合的な推進を図ることにより町行政の諸活動を明らかにし、透明性を高め、理解を深め、町民の町行政への参加を促進し、開かれた行政を推進することを目的としている。情報は、長期計画、分野ごとの基本・中心となる計画、町民の利害に関する重要な計画、制度制定、条例等や、委員会などの審議内容を公表する。

非開示情報、軽微な改正、緊急性を要するもの、権利義務に直接関わらないものなどは除く。公表の時期は、最終決定がされる前の案が作成された時、審議会等の会議が終了した都度である。公開は、町ホームページ、

広報かわづ、印刷物の配布、報道機関への情報提供などである。

その後、町民からの意見を求め、提出された意見を考慮して意思決定を行うものとする。

審議会等については、法令等により、公開禁止されている場合、公開することにより、公正かつ円滑な議事運営に支障が生じることが予想される場合には公開しない。などの案について話し合われた。

議事録の町ホームページ上における情報公開について

現在文化の家(図書館)で閲覧できるが、当町においてもインターネットを利用して閲覧できるように町当局より依頼があり同意した。時期は、6月定例会以降の会議録から。

公共交通対策について

町バスの現状は、泉原、大鍋、小鍋、上佐ヶ野へ週2回運行され、利用者も固定している。主に買物や通院利用である。

河津駅まで行ってもらいたいや、バスがないと困るとの声がある。利用者が少なく利便性に欠けている。

先進地の事例紹介があり、町の地形等も考慮に入れ話し合いを進めた。考えられる当町の公共交通の運行方法についての基礎資料となる、聞き取り調査の実施を町当局へ要望した。



町バス



搭載重量10kgのドローン

ドローンの活用について

JUIDA 認定スクー「講師 平馬宗季氏(かねかじ屋)を招いた。歴史、現状、ルールと多岐にわたり講習を受けた。導入のメリットとしては、景色などの空撮映像は観光誘客につながる。建物の外壁、屋根の点検など不動産、建築分野で

の活用。測量データと組み合わせ立体測量図の作成。人が立ち寄れない土砂崩れ現場等の空撮、海難救助などを想定した防災活用。農業散布、肥料散布などの農業への活用。食料、物品などの宅配サービス。体育館、空き地などでのドローンレースの誘致などが挙げられた。

# 議会の動き

## ● 議長の活動

5月

・ 賀茂郡議長会総会

(南伊豆町)

・ 全国議長・副議長研修会

・ 静岡県地方議会議長連絡協議会総会・政策研修会

(静岡市)

## ● 町議会の活動および 常任委員会活動

3月

・ 賀茂地域の将来に向けた産業関連詳細分析講演会

・ 例月出納検査報告

・ 広報編集委員会

・ 文化の家運営協議会

・ 学校給食運営協議会



宮崎 啓次 議長

4月

・ 議員月例会

・ 例月出納検査報告

・ 第1常任委員会

・ 自衛隊協力会理事会

・ 広報編集委員会

5月

・ 議員月例会

・ 例月出納検査報告

・ 議会運営委員会

・ 広報編集委員会

・ 自衛隊協力会総会

・ 国民健康保険運営協議会

・ 社会福祉協議会理事会

## ● 議長に要請のあった 諸国会合

3月

・ 交通安全対策委員会

4月

・ 春の全国交通安全運動街頭広報

・ 消防団役員歓迎会

・ 伊豆半島ジオパーク世界認定セレモニー

(伊豆市ジオリア)

・ 伊豆縦貫道「天城峠道路」建設促進期成同盟

会要望 (東京・名古屋)

5月

・ 下田警察署防犯協会総会

## 私モ一言

商工会青年部部長  
稲葉 正義



ひまわり接骨院を開院してから12年、青年部に所属して12年、大変さ 充実感 楽しさ いろいろ体験させていただき、平成30年度商

工会青年部部長に任命されました。

普通に仕事しているのと

青年部に所属していること

の違いは与えられるチャン

スの多さが違う!!

いろいろな業種の部員と

話をして、人との付き合い

を増やすだけでなく、違う

業種でも自分の仕事に活か

せるヒントがあるかもしれ

ません。

また青年部は河津町だけ

ではありません。先日も絆

運動として東伊豆、南伊豆

の青年部員の方と熱川海岸

の清掃を行いました。こう

いった事業に参加すること

で、自分を隣接の市町の人

達に知ってもらう良い機会

だと思えます。

でもそれには仕事に自信

をもってやっている事を自ら

発信していかなければいけ

ません。私はこの気持ち

が当時なかったから意味がな

い、辞めたいと思っていま

した。せっかくの良い仕事

も知ってもらわなければ意

味がありませんし、自分が

思っている以上に周りには知らないって事はあると思えます。

商工会青年部員として与

えられたチャンスをやま

活かしたい!!それが自分の

仕事に少しでもプラスにな

るようにしてほしい!!

正直、仕事と青年部部長

を両立していくのは大変で

はありますが、楽しみなが

ら挑戦していきたいと思っ

ています。

また、商工会青年部では

部員も募集していますので、

そちらもよろしくお願

い

ます。

## 編集後記

議会だよりに関わりもうじき4年が過ぎようとしています。町民のみならずにも議会の仕事を理解していただくために、議会だよりの改革をしてきました。情報発信のツールとして、I・TやSNSなどに比べるとタイムリーな情報を伝えることは出来ませんが、まだまだ議会だよりの役目は大きなものであると思います。読者のみなさまのご意見も募集しております。

(塩田正治)